



「沿岸生態系の機能と生物多様性保全」

仲岡 雅裕 北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所

email: nakaoka(at)fsc.hokudai.ac.jp

研究室HP <https://www.fsc.hokudai.ac.jp/akkeshi/>

関連キーワード「アマモ場／生態系サービス／ブルーカーボン」

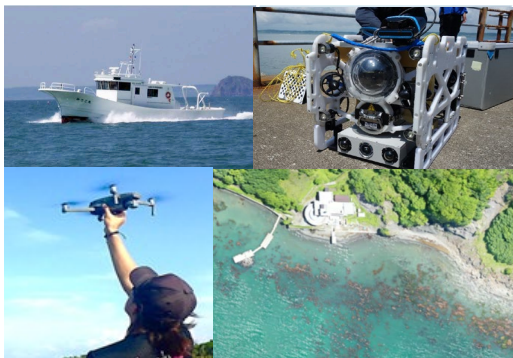
○キャッチコピー

自然の恵みを未来に残すために最先端の科学技術を総動員しよう

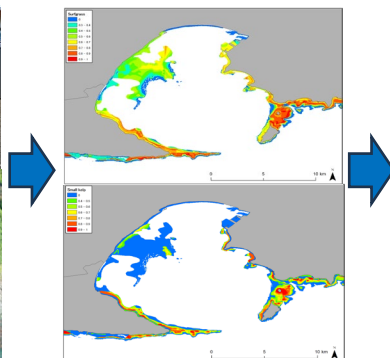
○研究の内容紹介

干潟・藻場（アマモ場やコンブ林）が広がる沿岸生態系は、魚介類の供給や水質浄化、二酸化炭素吸収隔離（ブルーカーボン）による気候変動緩和など多様な恵みをもたらしています。私たちはその変動機構を理解するために、野外調査とリモートセンシングや環境DNAなど最新の技術を統合したアプローチで取り組んでいます。

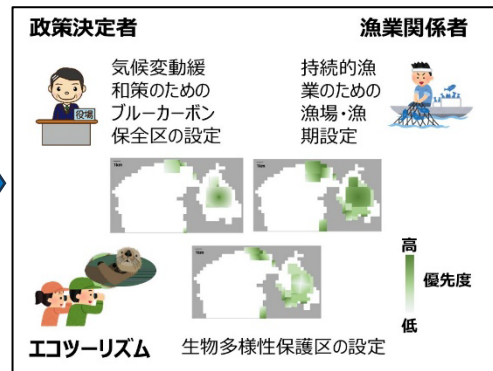
- ・リモートセンシングと統計モデルによる藻場の長期変動解明・将来予測
- ・陸域の土地利用の変化が沿岸生態系の生産性・生物多様性に与える影響の評価
- ・ドローンとAIを利用した藻場の種構成の判別



多様な手法による藻場観測



種毎の分布・生物量推定



生態系サービスの評価結果の提示

○社会実装への可能性

- ・生物多様性・生態系機能の可視化による保護区と産業利用区のゾーニング
- ・ブルーカーボンの正確な評価によるゼロカーボン政策・排出権取引の立案
- ・沿岸生態系のフットプリント評価による生物多様性取引の仕組みづくり

○産業界や自治体等へのアピールポイント

- ・ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ政策をより詳しい生態情報に基づき立案へ
- ・CSV（共通価値の創造）を通じた生物多様性保全と社会の持続可能性の実現へ



厚岸臨海実験所
Web



Researchmap

